

東日本鉄道OB会の 皆さまへ

東日本旅客鉄道株式会社
代表取締役副社長
喜勢 陽一



若葉の緑が照り映える時節となり、東日本鉄道OB会の皆さんには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、皆さんにはホーム上の安全確保や駅美化、増収などJR東日本グループの業務に一方ならぬご理解とご協力を賜り、篤く御礼を申し上げます。

去る3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震により、東北新幹線が那須塩原～仙台間で不通になつておりましたが、おかげさまで順次輸送も復旧し、4月14日には全線運転を再開しました。東北各地は、これから天然の美の豊かな季節を迎えます。私どもといたしましても、多くのお客さまに東北観光を楽しんでいただくよう、地元の皆さんと連携して機運を盛り上げていく所存ですので、OB会の皆さんにも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

コロナ禍により、JR東日本グループは2期連続して赤字を計上する厳しい経営状況となり、皆さんにも大変なご心配をおかけしていることと存じます。確かにコロナ禍により、JR東日本グループを取り巻く経営環境は大きく変容しました。そしてこの変容は、Withコロナ、Afterコロナになっても、決してコロナ禍前には戻ることのないものです。しかしながら、この大変容は「変革2027」が5年先、10年先に想定していた経営環境が、時間軸を飛び越えて、私どもの現在の課題として向き合うことになったものとも言えます。その意味で、私どもは、この大変容を決して悲観するのではなく、むしろ「変革2027」が目指す構造改革をさらに加速させる好機と捉えています。そして、JR東日本グループで働くすべての社員が「主役」となって「新しい成長戦略」を描き、新たにさまざまなチャレンジを展開することを通じて、今後の持続的な成長を確かなものにするとともに、今まで以上に私どもの事業活動を通じて社会の多種多様な課題解決に貢献する「新しい会社」「新しいJR東日本グループ」の構築を力強く推進し、皆さんのご期待にお応えする決意であります。

時あたかも今年は、明治5年（1872年）に新橋～横浜間で鉄道が開業して150年の節目にあたります。鉄道の伸長が、我が国の隆々たる発展とともにあった先人の偉業に深く思いを致すとともに、皆さんが先人から受け継がれ、そして私どもに託されたバトンを、さらに未来に向けて大きく受け渡すことができる節目にもなるよう、一層奮励し、力を尽くしていきます。

今、社内では、国鉄採用の世代があと2年で60歳定年を迎えるという意味で、JR採用への世代交代が正念場を迎えています。そうした中でも、社会の公器を担っているという「鉄道人魂」は、時代がいかように変わろうとも、決して失われてはならない私どもの原点です。この「鉄道人魂」が、現役世代にもしっかりと受け継がれるよう、今年度から皆さんと現役世代とのさまざまな接点を創らせていただく所存です。

そうしたことも含めて、今年度も皆さんには、これまでと変わらぬご支援とご協力を願うとともに、お気づきのことがあれば、厳しいご叱声を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、皆さんの一層のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

photo topics

品川のまちづくりに向けた ドローンとグリスロの実証実験を実施



「品川開発プロジェクト」では、心豊かな暮らしづくりに向けた実験を進めています。11月20日に、ウォーターズ竹芝でドローンに食事を載せて運ぶフードデリバリーの実証実験を実施し、11月24日～12月6日には、白金・高輪エリアで「坂道が多い」などの地域課題の解決に向けた新たな移動サービス「グリーンスローモビリティ」（通称「グリスロ」）の実証実験を行いました。まちびらき後の実装も見据えて今後も推進します。

舞浜駅ホーム延伸部の供用を開始



1月29日の始発列車から、京葉線舞浜駅ホーム延伸部の供用を開始。ホームおよび上家の拡幅（起終点計100m）に加え、上下線の停車位置を互い違いになるように変更したほか、コンコースサインを改良しました。今回の工事によりホーム面積が約1.5倍に増え、ホーム上の混雑緩和を図るとともに、これまで以上に駅を安全・快適にご利用いただけるようになりました。

特急「あずさ」運行開始55周年イベントを開催



1966年に運行開始した特急「あずさ」の55周年を記念し、12月から1月にかけて沿線でさまざまなイベントを開催。55周年当日の12月12日には、新宿駅での出発式をはじめ、立川・上諏訪・松本駅でお見送りやお出迎えを実施しました。期間中、八王子駅社員が発案した歴代あずさ号のスタンプを集める「あずさ55<ご縁>ラリー」や、松本駅社員が撮影した写真や収集品を展示した「歴代のあずさ号写真展」などを開催し、多くのお客さまにお楽しみいただきました。

ロサンゼルス事務所を開設



3月1日、米国新たな拠点としてロサンゼルス事務所を開設。今後、訪日旅行需要の拡大や、インキュベーション（事業や起業の創出と促進のサポート）機能強化に向け、テック企業などが保有する技術シーズ（顧客に提供できる価値や強み）や新サービスの発掘および情報収集に取組んでいきます。

*写真は事務所入居ビル

ロボバリスタ「Ella」のテストマーケティングを実施



(株)JR東日本クロスステーションの協力のもと、シンガポールのスタートアップであるCrown社が開発したロボバリスタ「Ella（エラ）」を東京駅地下「銀の鈴広場」と横浜駅中央北改札内「JRE MALL Cafe」に導入し、本格派で高品質のコーヒーを提供する、エキナカでの無人コーヒーサービスの実証実験を実施しました。今後もコロナ禍で変化するエキナカサービスの需要を探り、「Beyond Stations構想」の実現に向けた挑戦を続けます。